

# 環境と健康

## 公衛協の目玉事業を発表

### 第47回環境保健夏季大学



活動の成果などを発表する公衛協の代表者(上)、パネルを前にそれぞれの体験を交流する参加者(右)

## ポスターセッションで体験交流

第四十七回環境保健夏季大学(合同研修)が七月十一日の二日間、呉市安浦町の「グリーンピアせとうち」で開催され、公衛協役員や事務担当者ら約二百人が参加した。参加者は、活

動発表やポスターセッション(図説)、分科会を通して市町の垣根を越えて情報交換や体験交流を行いながら学びあった。

その後行われたポスターセッションでは、夏季大学にあわせて各公衛協で作成した活動パネルが会場に展示され、参加者は自由に見学し、解説者に具体的な内容や活動のヒントを聞くなどして交流した。

最後に、広島県健康福祉局長の迫井正深(さこいまさみ)氏による講演「ひろしま健康を増やそう!健康づくり運動の推進」(講演要旨は二面)では、健康ひろしま21や、今年三月に策定された県食育推進計画の紹介をもとに、県民が主体となった健康づくり活動の必要性が語られた。

また、夜の自由集会では、「公衛協活動グッズの紹介」「温暖化の最新映像アラカルト」「広島県の生き物紹介のコーナー」を設け、当会から公衛協活動で活用してもらいたい情報を提供した。

二日目は、分科会を実施した。テーマは、「食と農から取り組む脱温暖化」「生き物から取り組む脱温暖化」「子どもを取り組む脱温暖化」「地域の脱温暖化力・人材発掘」の四つで、どれも「脱温暖化」を切り口とした活動メニューづくりなどを行った。

分科会でのメニューづくり。全体会では、分科会を受けて、参加者がまとめた活動メニューなどについて共有した。

## 基金運用で13公衛協の活動に助成

当会の地域活動支援基金運用委員会は、六月二十日に開催された第二回委員会で、平成二十年度環境と健康のコミュニティ活動助成事業に係る応募分の審査を行い、次の十三公衛協が実施する事業に対して助成(総額百七十万円)することを決定した。

【発展型部門】助成額二十五万円  
『北広島町みんなで取り組む脱温暖化のまちづく

り事業』(北広島町公衛協)

【導入型部門】助成額一律十万円  
『美しい景観の里山づくり

十年計画』(呉市第六地区公衛協)、『とらたん畑と健康づくり料理教室

』(三次市和田地区公衛協)、『坪生学区脱温暖

化対策環境家計簿調査及び省エネルギー』(福山市坪生学区公衛協)、『約一年間環境家計簿の記録』(福山市御野学区公衛協)、『地産物の野菜パワーで布野に健康づくりの輪を広げよう』(三次市布野地区公衛協)、『家庭で省エネ

## 省エネや食育テーマに実践

環境協 地域活動支援基金運用委員会

ステップ・アップ・ジャンプ』(福山市千年学区公衛協)、『眺洋山、東城山からゴミが消えたデ』(福山市常石学区公衛協)、『子どもによる野菜づくりと食育』(福山市千田学区公

衛協)、『蓮池川(芦田川水系)整備・清掃活動』(福山市西条学区公衛協)、『ほたる祭り』(三次市田幸地区公衛協)、『農業体験』(府中町東小学校区公衛協)、『環境ポスター活用事業』(庄原市公衛協)

なお、採択された公衛協は、来年二月末日までに活動を完了し、報告書を当会へ提出する。地域活動支援基金運用委員会では、これらの報告を事例集にまとめ、全県の市町公衛協に配布するほか、研修会や会議の資料などとして活用する予定である。

## 琴線歌

七月二十日を過ぎて、日本列島は各地で三十六、三十七の気温を記録した。誰もが地球温暖化が進んでいると実感したと思う。少なくとも、私たちが子どもの頃は、真夏でもこれほどに気温が上がることはなかった。七月七日から九日まで北海道の洞爺湖で主要国首脳

## 地球温暖化対策

会議、いわゆるサミットが開かれた。最も大きなテーマは地球温暖化の問題。時宜を得たテーマだった。今回のサミットの最大の収穫はアメリカ合衆国の合意である。アメリカはこれまで、温暖化対策の強化は経済成長に悪影響を与えるので社会構造の変革なしに、技術開発によって二酸化炭素を削減すればよいとしていた。これに対してヨーロッパ諸国は社会構造を変革して低炭素社会への移行を早急に実施すべきだとの立

## 地球温暖化対策

場だった。今回八カ国主要国の首脳議論の成果として、首脳文書がとりまとめられた。中心部分は、「二〇五〇年までに世界全体の二酸化炭素排出の五〇%削減を達成する」という目標を立てたことだ。これは大変大きな成果である。この目標に向かって、これから各国が努力しなければならぬ。日本はもろろん議長国として、この文書の内容どおり先頭切って努力する義務がある。私たちもこのことを受け止めて、あらゆる努力をして低炭素社会の実現を目指す必要がある。地球温暖化はすでに起こっており、日本の国にも大きな影響を及ぼす問題であるということをも十分に認識し、国民一人ひとりが自分たちでもできることがたくさんあるんだと頭の中にたたき込むことが大切である。

(衆議院議員 平口洋)

## 環境と保健の未来をめざして 財団法人 広島県環境保健協会

〒730-8631 広島市中区広瀬北町9-1 (広島県公衆衛生会館)  
TEL (082) 293-1511 大代表 FAX (082) 293-1520

(財) 広島県環境保健協会・・・<http://www.kanhokyo.or.jp>  
脱温暖化センターひろしま・・・<http://www.kanhokyo.or.jp/ondan/ondan.html>  
広島転倒予防研究会・・・<http://www.kanhokyo.or.jp/tentou/>  
広島県禁煙支援ネットワーク・・・<http://www.menet.gr.jp/kin-en/>

